

2017 年 6 月 9 日

Mido Holdings Ltd.の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する Mido Holdings Ltd.（本社：スイス・ローザンヌ、取締役会 会長兼 CEO：加藤隆哉、以下「ミドクラ」）の全株式について、同社の創業者であり CEO である加藤隆哉氏に譲渡することを決定致しました。

ミドクラは、2010 年 1 月に、ネットワークの仮想化を実現するソフトウェアの開発・販売を目的に設立された、日本発のグローバル IT 技術ベンチャーです。

INCJ は、ミドクラに対し、同社の製品開発、事業推進に必要な資金として投資を行ってまいりましたが、この度、加藤氏から、既存株主に対し、株式の譲り受けの提案がありました。INCJ では、この提案を慎重に検討した結果、保有する全株式を同氏に譲渡することが適切という判断になりました。

参考）

INCJ は、2013 年 4 月に「ネットワーク仮想化ソリューションを開発する日本発のグローバル IT 技術ベンチャーへの投資を決定」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1465354279.01.pdf>

INCJ は、2016 年 6 月に「Mido Holdings Ltd.への追加出資の決定について」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1465354031.03.pdf>

Mido Holdings Ltd.について

設立	2010 年 1 月
事業内容	ネットワーク仮想化を実現するソフトウェア「MidoNet」の開発、販売
事業所	スイス・ローザンヌ、東京都港区、米国サンフランシスコ、スペイン・バルセロナ
代表者	CEO 加藤隆哉
URL	http://www.midokura.jp/

株式会社産業革新機構(INCJ)について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1－4－1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階
電 話：03-5218-7202 URL：<http://www.incj.co.jp/>

[別紙]

1. 対象事業会社

Mido Holdings Ltd.

- ・設 立 : 2010 年 1 月
- ・代表者 : 加藤隆哉
- ・所在地 : スイス・ローザンヌ、東京都港区、米国サンフランシスコ、スペイン・バルセロナ
- ・事業内容 : ネットワーク仮想化を実現するソフトウェア「MidoNet」の開発・販売

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額: 総額約 22.92 億円(上限 12 億円+10 百万米ドル)
- ・実投資額: 総額 22.06 億円(11.19 億円+10.87 億円)
- ・共同投資家: 富士通、NTTドコモ・ベンチャーズ、イノベティブ・ベンチャーファンド、シンプレクス等
- ・株式保有割合: 31.3%
- ・支援決定公表日: 2013 年 4 月 / 2016 年 6 月

<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1465354279.01.pdf>

<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1465354031.03.pdf>

- ・投資ストラクチャー図:

<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1465354133.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

Mido Holdings(以下「ミドクラ」)は、2010 年 1 月、日本発のネットワークの仮想化ソリューション開発ベンチャーとして設立されました。当時、スマートフォンやクラウドコンピューティングの本格普及を背景に、コンピュータ/ネットワークインフラ業界におけるネットワークの仮想化技術(ソフトウェア化)を実現する Software Defined Networking(「SDN」)市場は、2012 年以降、グローバルのみならず日本においても、今後、本格的な市場立ち上がりが見込まれていました。

INCJ は、ミドクラの今後の製品開発、事業開発に必要な成長資金として、2013 年 4 月に 12 億円を上限とする投資を決定、2016 年 6 月には追加投資として 10 百万米ドルを上限とする追加投資を決定し、総額で約 22 億円の投資を実行しました。

(2) 事業の進捗

追加投資時点では、有力企業による大規模な導入案件受注を見込んでいましたが、SDN 市場は本格的な拡大にまでは至っておらず、ビジネスモデルの確立にはさらに時間を要する状況となりました。

(3)Exit の経緯・内容

このような状況下、INCJ としても Exit を検討する中、創業者の加藤隆哉氏から、既存株主に対し、株式譲り受けの提案があり、INCJ は、この提案を慎重に検討した結果、2017 年 6 月、保有する全株式を同氏に譲渡することとなりました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を踏まえ、引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。